

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



# リーダーの育成と仲間づくりを

## ～組合員研修「夢さがし塾」3年目～

組織・地域のリーダー育成を目的とした組合員研修「夢さがし塾」（第2期4年次目、石澤彰園長）が11月26日～11月30日の5日間で実施され、組合員、職員13人が参加し、研修を行いましたのでご報告致します。

第2期「夢さがし塾」の研修は九州北部です。

### 糖度によるランク付け・デザイン化

#### たかしま農園（長崎県）

1ヶ所目の研修先は、たかしま農園。農園がある長崎県高島は、周囲6.4kmの島で、平成17年から事業が開始され、それまでの経緯やブランド化への取り組みなど、溝江弘所長と木下静幸事業部長、渕野友規職員からお話を伺いました。

#### ●消費者の目を引くデザイン

炭鉱で栄えていた高島は、昭和61年の炭鉱の閉山により人口流出が続き、これを食い止めるため、第三セクターの企業グリーンファームが立ち上げられ、島でトマト事業を展開しました。しかし、2haの規模でスタートした事業も採算が取れず、1haまで縮小、平成16年には市町村合併を機に撤退、それを崎永海運株式会社が引き継ぎ、トマト事業部を立ち上げスタートしたのがたかしま農園の始まりでした。たかしま農園では「ファーストパワー」というハート形の品種を栽培しており、水や肥料を最小限に抑える栽培方法でトマトの糖度を7～10度まで引き上げ（一般的なトマトは4～5度）、「たかしま

炭鉱で栄えていた高島は、昭和61年の炭鉱の閉山により人口流出が続き、これを食い止めるため、第三セクターの企業グリーンファームが立ち上げられ、島でトマト事業を展開しました。しかし、2haの規模でスタートした事業も採算が取れず、1haまで縮小、平成16年には市町村合併を機に撤退、それを崎永海運株式会社が引き継ぎ、トマト事業部を立ち上げスタートしたのがたかしま農園の始まりでした。たかしま農園では「ファーストパワー」というハート形の品種を栽培しており、水や肥料を最小限に抑える栽培方法でトマトの糖度を7～10度まで引き上げ（一般的なトマトは4～5度）、「たかしま

フルーティートマト」とブランド化して販売し、全国にその名を広めており、栽培方法を学ぼうと全国からトマト作りのプロフェッショナルが訪れてています。

また、高島の島民からも「たかしまフルーティートマト」は愛されており、現在の島民は350人程度ですが島民だけで年間800万円程度の販売高を占めています。

事業開始当時は採算が合わなかつたことから一時は撤退も考えていたそうですが、一念発起し、ブランド化に向けた職員の意識改革のために、実際に3ヶ月に及ぶ講習会の開催や毎週長崎県からプランナーを呼んで検討を重ね、消費者に分かりやすく、糖度によるランク付け・デザイン化を行いました。

溝江所長は「トマトの収穫時期が4ヶ月間であることを利用し、メロンや一シニクなどの作物を栽培することで畑やビニールハウスをフル稼働し、ロスの少ないトマト作りを心がけていきたい」と意欲的な考えを述べていました。

懇親会では溝江所長らの他、東日本大震災後に、本州（福島、千葉、神奈川県）から高島に移住した九州で活動する5人のミュージシャン「RAINBOWMUSIC」のメンバーも参加し、歌をご披露していただき、大いに交流が図られました。



#### ●高島の歴史、たかしま農園の取り組みについて学びました



これまでの歴史や取り組みについて説明する菅代表

## 都市農村交流による活性化

### 菅里山レストラン（熊本県）

2ヶ所目の研修先は人口約180人、80世帯が暮らす熊本県上益城郡山都町菅にある菅里山レストランの発足や取り組みなどを菅純一郎代表からお話を伺いました。

人口の減少が進み、特に若年層の流失が顕著であり、30年後には集落消滅の危機感から「なんとかしよう。やれる事からやっていこう」を合言葉に都市農村交流による活性化を目指し、始まりました。

平成8年に休耕田を都市住民へ貸し出す「棚田オーナー」による交流が地元振興会15組でスタートし、平成20年には地元の菜園野菜の産直販売が熊本市帶山で始まり、その販売促進活動の一環として産地見学会を兼ねた1日ホームステイが菅里山レストランに発



菅集落の祭事料理を各農家の自宅で交流しながらいただきました

展しました。レストランの概要是、農林水産省第1回棚田百選にも選ばれたすばらしい農村景観を楽しみながら、農道や畦道を散策し、農家の家まで歩き、菅地域の農産物を使つた「菅集落の祭事料理」を農家の家で交流をしながら食べます。祭事料理は閉校した小学校で農家の女性が作っています。この取組開始から年間1,300人～1,800人の来客があり、約8割が県外からの客でリピーターも多いそうです。

平成30年には、新たな取り組みとして「子ども野菜塾」を始め、農作物の植付けから収穫、調理までを通年開催できることを目指してスタートさせ、開始から約1年間で12回開催しています。

菅代表は「今後はジビエ料理を提供することも予定しています。菅地域のより一層の活性化に尽力していきたい」とお話を頂きました。

## 農家のための農協経営

### 下郷農業協同組合(大分県)

3ヶ所目の視察先は、農地解放による小作人によって昭和23年に設立された下郷農業協同組合。職員から代表理事組合長に就任した矢崎和廣組合長に農協の歴史や現在の事業活動などを伺いました。

下郷農協の地区には、かつて同農協の他に地主によって設立された下郷第一農協が併設されていました。

下郷農協は歴史的背景から非常に結束意識が高く、平成20年に大分県内にあるJJAの広域合併の際も、組合員と職員が借り入れし出資することで合併には加わらないなど、農協に対する思いの強い農協でした。



耶馬溪牛乳について説明する矢崎組合長

また、平成27年には、全国で初めてJJA県信連に信用事業販売事業では、「有機農業

酪農は、長野県からの移住者が下郷農協から借り入れをして乳牛を導入したことが発端で、牛乳加工場を持つとともに、耶馬溪牛乳の発祥となっています。近年は畜肉なども始め、食肉加工部門が出来ました。また、若い畜産農家が夢を持って生産できるようにと飲むヨーグルトの加工施設を自己資金で増設しています。

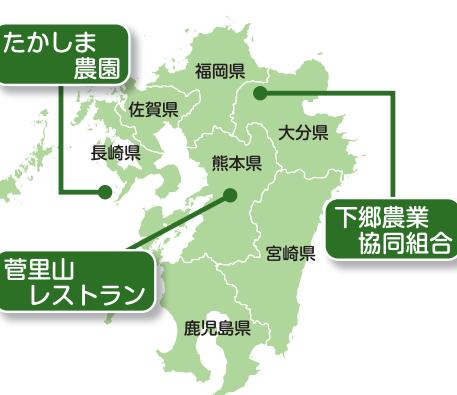
また、地域貢献のために全国でも例の少ない医療事業を行つており、診療所やデイケア施設の運営も農協で行つています。このことから農協が地域と非常に密接な関係を築き上げていると感じました。

矢崎組合長は「農家のための農協に目を向けることからやるべきなった。これから農業に意欲がわいてきた」など、それぞれの研修先の取り組みや努力に驚嘆する声が上がりました。

幅広い年齢、地域の組合員が一堂に会し、常呂町には新しい新たな取り組みを通じて様々な手法を学び、行程の中で交流を通じた今回の夢さがし塾は、これから菅農活動に非常に有意義となる研修となつたのではないかでしょう。

## 研修を終えて

研修を終え、参加者からは「糖度によるラムネ付けやデザイン化など学ぶべきところがたくさんあった」「限界集落だが前向きに取り組みができることからやれることを最大限に行い、集落を守ろうとしている姿に心を打たれた」「常呂町農協と職員数は変わらないが多岐にわたる業務や施設運営をしているのには驚いた」「北海道農業にはない考え方や常呂町でも考えなければならぬ課題などとても勉強になりました。これから農業に意欲がわいてきた」など、それぞれの感想が述べられました。



### ○夢さがし塾参加者

- ・石澤 彰 (富丘地区／理事)
- ・寺町 裕平 (岐阜地区／青年部)
- ・松本 一紘 (岐阜地区／青年部)
- ・米山 東亞 (岐阜地区／4HC)
- ・大江 慎悟 (共立地区／4HC)
- ・植松 和希 (福山地区／4HC)
- ・猪野間ありさ (土佐地区／女性部)
- ・佐藤 恵美 (共立地区／女性部)
- ・清井 優奈 (日吉地区／女性部)
- ・近藤香奈子 (豊川地区／一般)
- ・片山 智喜 (共立地区／一般)

※( )内は地区名と所属、敬称略

夢さがし塾に参加した皆さん  
(下郷農業協同組合)

# みんなで楽しく笑顔で交流

## —オホーツクＪＡ女性協・フレッシュユミズ部員研修会—

オホーツクＪＡ女性協議会主催の「フレッシュユミズ部員研修会」が12月4日～5日に網走市「網走湖荘」で開かれました。

管内フレッシュユミズ部員約100人が参加し、ＪＡところからは、林理沙部会長を始め16人が参加しました。

1日目に行われたフレッシュユミズの主張では当部会の清尾和歌奈副部会長が「フレッシュユミズで繋がる人と心の輪」と題し、府県から北海道へと嫁ぐときの気持ちやフレッシュユミズの副部長として誰もが参加しやすい活動をするためにどういったことに気を付け現在に至るのかといった内容を発表。



発表を行う  
清尾副部会長

その後の研修「フレレク☆」では、地区役員の考えたゲームを10チームに分かれて行い、地域の壁を越えたチームワークで熱戦が繰り広げられ、優勝チームには豪華景品が贈られました。

2日目は「ゲームで体感するSDGs自分と世界の繋がり」と題し、今話題のSDGs（持続可能な開発目標）について力

見管内良質乳生産者として表彰を受けしており、平成20年度には全道の乳質改善大賞を受賞しています。那須牧場は平成21年度から

30年度までの10年間、岐阜地区の那須牧場（那須惇さん）は1月15日、ホクレンが全道の酪農家に配布している「ホクレン指定団体情報」についてゲームをしながら学べたので理解が深まった」と話しました。



他地域の部員と協力して熱戦が繰り広げられました

# 良質乳生産の維持を目指して

## —那須牧場がホクレンの酪農家向け雑誌「ホクレン指定団体情報」の取材を受ける—

岐阜地区的那須牧場（那須惇さんは「乳質にだけこだわるのでなく、生き物として牛を健康に飼うこと、牛の周りを通る時は常に観察して異変があつたら早い段階で対策することを心がけている。また、酪農を通して子どもたちに食や命の大切さなどを伝えていきたい」と話しました。

同取材は生産者段階での良質乳生産や安全・安心に向けた取組みの他、輸送段階、乳業工場受入



インタビューを受ける那須夫婦(右)



● 活発な意見交換が行われました



● 観察研修に参加した皆さん(谷尾食糧工業株)

小豆生産組合（林靖士組合長）は12月2日～5日の4日間、小豆生産組合の婦人による道外観察研修を行い、林組合長含め8人が参加しました。

同研修では、小豆の取引先である湊商事株と谷尾食糧工業株に訪問しました。湊商事株では、取り扱っている豆類の倉庫（川西倉庫株）を観察しました。豆類の流通の現場をどのような形で取引先に生産物が流れていくのかを目の当たりにし、また普段あまり目に

しない豆類などがあり、参加者の皆さんが種類や保管数量の多さに驚きを隠せない様子でした。

谷尾食糧工業株では、林組合長より令和元年産の小豆の品質などの作柄について報告を行い、谷尾精一会長より豆製品について説明がありました。その後、参加者全員で工場内の観察を行い、今後に向けての活発な意見交換が行われ、大変実りのある研修となりました。

## 一豆類の流通情報を探査

### 「小豆生産組合道外観察研修」

## 農林年金の特例一時金をお支払いいたします

令和2年4月1日の農林年金改正法の施行日以降、対象者全員に特例一時金をお支払いして農林年金のお支払いは終了します。



農林年金に住所登録がないとお届けできません  
※対象者には農林年金から特例一時金のお支払いのご案内をお送りいたします。

### 対象者

農協、漁協、森林組合などの農林漁業団体にお勤めされたことのある方

(※農業共済組合、厚生連病院、土地改良区、農業会議、たばこ耕作組合、漁船保険組合、農事組合法人など)

特にこんな方は登録されていない可能性があります

- ① 平成8年12月以前に団体を退職している。<sup>※1</sup>
- ② 日本年金機構「ねんきん定期便」に農林年金期間が含まれていない。<sup>※2</sup>
- ③ すでに62歳を超えていて農林年金から何の連絡もない。<sup>※3</sup>
- ④ 62歳はまだ先のことだが、①②に当てはまる。

※1 特に退職時と「苗字(姓)」が変わっている場合、住基ネットで確認できません。

※2 農林年金期間は、ねんきん定期便の「一般厚生年金」期間に含まれています。

※3 平成31年4月1日時点で62歳を超えている。

お心当たりがある方、こちらまでご連絡をお願いします。

連絡窓口・農林年金 管理徴収課 03-6811-0550

農林漁業団体職員共済組合（農林年金） <https://www.norin-nenkin.or.jp/>



## 勤続20年表彰



原田 亮  
平成11年7月1日採用



樋渡 由紀  
平成11年7月1日採用

## 勤続10年表彰



佐久間 克和  
平成21年7月1日採用



長内 香央理  
平成21年7月1日採用

J A職員  
長期勤続者表彰



J A本部事務所の仕事始めとなる1月7日に、役職員が出席した新年交礼会が行われ、4名の長期勤続者が表彰されました。

1月号で記載した内容に誤りがありましたので訂正致します。

〈訂正とお詫び〉 P7女性部・フレッシュミセス部会役員視察研修 誤：児玉課長補佐 ⇒ 正：児玉課長  
ご愛読頂いている皆様にご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。

## 『農業機械 導入・入替時』～金融共済課からのお知らせ～ 自動車共済 手続き忘れていませんか？

万が一の事故に備え、トラクター・付属農業機械などに対し  
自動車共済にご加入いただいております。

『農業機械の導入・入替時』に手続きを行わないと  
事故の際、補償になりません。

- 手続きには、導入金額を確認できる資料  
(売買契約書・減価償却台帳など)が必要です。
- 内容の確認は、金融共済課(54-3309)にお問合せ下さい。



## 第11回理事会報告 <12月23日開催>

- ◆令和2年度内部監査計画の策定について
- ◆購買業務規程の一部改正について
- ◆資産の償却・引当基準の一部改正について
- ◆中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業に係る管理利用規程の制定について
- ◆中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業実施に伴う組合員への貸付について
- ◆組合員の出資金譲渡について

- ◆報告事項
- ◆第3四半期監査報告について
- ◆生活改善資金（変動型）金利変更について
- ◆平成30年産澣原馬鈴薯の本精算について
- ◆平成30年産共計小麦の本精算について
- ◆令和元年産共計小麦の追加概算精算について
- ◆固定資産の取得について  
(100万円以下 税別)
- ◆職員・準職員の組合員出資金について
- ◆組合員の加入・脱退について
- ◆経営者の変更について
- ◆農業委員会開催結果について

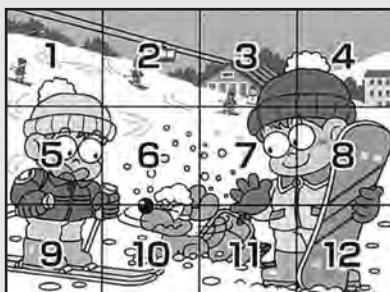
### 行事予定表

2月1日(土)~2月29日(土)

|          |              |          |              |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 2月 1日(土) | 閉組日          | 2月22日(土) | 閉組日          |
| 2月 8日(土) | 閉組日          | 2月23日(日) | 農休日・天皇誕生日    |
| 2月11日(火) | 建国記念の日       | 2月24日(月) | 振替休日         |
| 2月13日(木) | JAところ青年部通常総会 | 2月27日(木) | 地区別懇談会(～28日) |
| 2月15日(土) | 閉組日          | 2月29日(土) | 閉組日          |
| 2月17日(月) | 第1回定例理事会     |          |              |

# まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。



#### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、スイーツせぞんのお菓子セットをプレゼントします。

#### 先月の当選者・解答

1月号のクロスワードパズルの答えは「エキデン」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

山本 将大さん(岐阜)  
※( )内は地区名です。

### 読者の声

★いつもクロスワードを楽しみにしています！

(豊川地区・近藤 凜香さん)

★広報で知ることもたくさんありますので今後もよろしくお願いします。

(匿名希望)



講師の奥田シェフ

JJAといふ（川上和則組合長）は1月20日、「農家の食卓をより豊かに」を目的に組合員を対象に常呂産材料を使用したイタリアン料理教室を「ファーマーズハウスうえる」で開きました。

会場には組合員、組合員家族22人が参加しました。講師は数々の名誉ある賞を受賞し、有名番組などでも紹介されているイタリアンレストラン「アル・ケッチャーノ」を営むシェフの奥田政行氏です。

奥田シェフは、食材で

の組み合わせによる味や風味の変化、調理の仕方など料理の手法を丁寧に説明し、参加者も熱心にメモを取つたり質問をしたりして学びました。

参加者の皆さん



参加者の目線は奥田シェフの手元に



料理講習会に参加した皆さん

食材は常呂産のカキやホタテ、玉葱やじゃがいもなどを使用し、『イカとレモンのクリームソースのフェデリーニ』『カキと春菊のフジッリ』『ベーコンと玉葱のアルフレード風クリームソースフィットチーネ』『ホタテとジャガイモのサラダ玉葱のシャリーヴィネガーフィンガーフラット』『ビーツとリンゴのサラダ』の5品を調理しました。

こんなにたくさんの料理を素早く作れるのは本当にすごい。家に帰って早速作ってみたいと話しており、料理への関心がさらに深まる料理講習会となりました。



上品に盛りつけされた料理

# 世界の料理人1000人に選出の シェフから学ぶ豪華イタリアン

～JJAといふ料理講習会に22人参加～

## 次世代を担う 若者たち

給餌作業を行う大江慎悟さん

今月の表紙は、共立地区の大江慎悟さん（23）です。牛舎での作業中に取材させて頂きました。

給餌作業の合間に、これから農業への抱負について聞くと「就農して2年目になるので昨年より多くの仕事を覚えていきたい。また、細かく牛をチェックし、疾病牛を早期発見できるよう心がけていきたい」と話してくれました。

給餌作業中にも関わらず、取材、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。



## 編集後記

- 今年は雪が少なく「本当に1月か?」と疑ってしまいたくなる天候ですね。畑の土も見えたり小麦も冷たい風にさらされたりするので今年の作に影響が出ないか心配です。
- 最近では、とてもたくさんの読者の声が聞けて広報担当者としても嬉しい限りです。引き続きたくさんの応募者をお待ちしております。

《営農企画課：広報担当》